

東洋大学板倉キャンパス周辺地域における エコマネー導入の意義と可能性の検討

池田 誠*

はじめに

本稿は、地域通貨の一つとして注目を集めているエコマネーについて、東洋大学板倉キャンパス周辺地域におけるその導入の意義と可能性について明らかにすることを目的としている。本稿では、まず、エコマネーの概念を簡潔に紹介した上で、板倉キャンパス周辺地域において予想される今後の課題（すなわち、「従前からの地域住民」と「ニュータウンの新住民」と「大学の学生や教職員」との新たなコミュニティづくり）とその解決のための一方策としてエコマネーを導入することの意義を明らかにするとともに、アンケート調査の結果をもとにこの地域においてエコマネーを導入することの可能性について検討することとする。

1. エコマネーとは何か？

ここでは、エコマネーの背景とその活動、エコマネーの概要と目的を明らかにする。

エコマネーは、加藤敏春氏がその著書「エコマネー」¹⁾において1998年に提唱した新しい地域通貨である。現在、加藤敏春氏はエコマネーの普及と情報交換を目的とする任意団体「エコマネー・ネットワーク」²⁾を組織し、その活動の広げている。

また、エコマネーそのものの考え方や全国での取り組みは、「エコマネー・マニュアル V0.0」³⁾という形式でインターネット上に公開されている。このエコマネー・マニュアルは、エコマネーの活動に取り組む全国のメンバー各自が自ら増補・追補を自由に行えるという全く新しい発想で作成されたインターネット上の加除式の本（仮想的な本）である。全国各地で現在様々な実験的試みが進められているが、この本の機能によって最新のエコマネーの情報がそれぞれの地域で独自の試みを行っている方々の手によって自ら情報発信されている。キーワードによる検索機能も付いている。

（なお、この仮想的な本の形式は「みんなでつくる本」というソフトで、特定非営利活動法人＝NPO「情報化ユートピア」（代表：中村州男氏）がエコマネー・ネットワークのために開発したものである。）

従って、エコマネーの考え方や内容、全国の事例や最新の動きなどは「エコマネー・マニュアル」

*東洋大学国際地域学部；Faculty of Regional Development Studies, Toyo University

をインターネットで参照することが最善の道であるので、ここでは、簡単に「エコマネー・マニュアル V0.0」著者名：エコマネー・ネットワークの構成等を紹介するだけにとどめることにする。

このマニュアルの目次は次のとおりである。

はじめに マニュアルの位置づけ	第4章 「エコマネー」と情報ネットワーク化
第1章 はじめに知って頂きたい知識	第5章 内外の地域通貨
第2章 「エコマネー」導入への道	第6章 「エコマネー」の世界
第3章 「エコマネー」の活用事例	補足：「エコマネー憲章」・「エコマネー協定書」

例えば、このマニュアルの第1章1.の内容はエコマネーの紹介であり、次のようになっている。

第1章 はじめに知って頂きたい知識

Q1. 「エコマネー」とはどんなものですか

1. 環境、福祉、コミュニティ、教育、文化などの分野において、お金の対象とならない“互酬”の行為を評価し、それらを交換する為の新しい価値体系の貨幣です。

私たちの通常使っている国民通貨は“円”，貿易などに利用されるグローバル通貨は“ドル”や“ユーロ”です。これらは一般的な財やサービスの交換に使用されたり、銀行に貯えられたり、投資や投機に利用されたりします。

即ち、通常の貨幣経済の中で財やサービスの価値を評価し、交換の手段とし、計数の単位として使われているものです。でも、このお金だけで私達は豊かになれたのでしょうか。「エコマネー」はこれらの通貨と異なり、日頃の人々のちょっとした思いやりや助け合いの交換を行う為に考えだされた温かい通貨（マネー）です。

20世紀、私達は工業化の驚くべき発展により物質的には豊かさを享受することができました。しかし、21世紀を目の前に迎えた今日、バブルな経済の崩壊、金融システムの不安定という従来の貨幣経済の弱点に翻弄され、また環境問題や少子高齢化社会の到来を目前にし、我々はこれらに対応する新しい価値の創造を目指しています。これに対して加藤敏春（エコマネー・ネットワーク代表）が提唱した新しい概念が「エコマネー」です。「人の温かい心を具現化する」「ボランティア経済を循環させる」「コミュニティを活性化する」等など、21世紀の新しいコミュニティづくりを支援する「コミュニティ通貨」です。

具体的には、全てを貨幣で評価し財・サービス等を交換する20世紀の「貨幣経済」を補完する為、人と人との助け合いを基盤とする「ボランタリー経済」と、その中で行われるボランティア活動等を評価する新しい貨幣（エコマネー）です。

2. 20世紀の工業化社会において人の帰属する対象が「企業など」であったが、情報化社会と言われる21世紀には人はその所属する「コミュニティ」に帰属すると考えられます。

この新しいコミュニティ内の財・サービスの交換に適用される「コミュニティ通貨」がエコマネーです。

3. 「エコマネー」は決済機能のみを有し金融仲介機能は有さない「コミュニティ通貨」です。
4. 「コミュニティ」に所属する生活者自らが発行する通貨です。
5. 原則として各種グループやNPOなどが運営に当たります。

以上のように、エコマネーは新しいコミュニティづくりのための一方策という、新しい考え方を基に提案された地域通貨である。このような位置づけを有するエコマネーについて、本学部が立地する板倉キャンパス周辺地域でその導入を検討することの意義はあるのか、ということを検討することが次の課題となる。

2. 板倉周辺地域でのエコマネー導入の意義

東洋大学板倉キャンパス（国際地域学部・生命科学部）がある板倉町は、「群馬県の東南端に位置し、栃木、埼玉、茨城の県境にある。南境には利根川、北境には渡良瀬川が流れ、面積は4,184haである。現在の板倉町は、昭和30年2月に旧西谷田村・海老瀬村・大箇野村・伊奈良村の4か村が合併して誕生した。」（資料：「板倉町第三次総合計画」から引用）。現在は、群馬県企業局による板倉ニュータウンの開発が進められており、1997年には新駅（東武鉄道日光線板倉東洋大学前）の設置や東洋大学板倉キャンパスの開学がなされてきている。

板倉町のこれまでの人口推移をみると、表1に示すように若干の変動はあるものの基本的には1965年以降漸減的な減少傾向にある。

表1 板倉町の人口推移

年	人口（人）
1965	16,954
1970	16,290
1975	15,855
1980	16,024
1985	16,002
1990	15,948
1995	15,533

資料：国勢調査から作成

表2 板倉町の将来人口推計（封鎖人口と開放人口）

板倉町将来人口推計（推計値実数、封鎖人口）						（単位：人）
年	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	（75歳以上）	
1995年	15,933	2,546	9,957	3,030	1,154	
2000年	15,450	2,060	10,109	3,280	1,496	
2005年	15,390	1,996	10,011	3,383	1,828	
2010年	15,332	2,238	9,626	3,468	1,911	
2015年	15,191	2,411	8,900	3,880	1,873	
2020年	14,925	2,385	8,335	4,205	1,875	
2025年	14,564	2,176	8,184	4,203	2,217	
板倉町将来人口推計（推計値実数、開放人口）						（単位：人）
年	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	（75歳以上）	
1995年	15,533	2,546	9,957	3,030	1,154	
2000年	14,921	2,036	9,722	3,162	1,398	
2005年	14,283	1,811	9,302	3,170	1,635	
2010年	13,656	1,747	8,714	3,195	1,653	
2015年	13,017	1,711	7,706	3,600	1,590	
2020年	12,332	1,592	6,797	3,942	1,590	
2025年	11,568	1,407	6,211	3,950	1,922	

資料：「都道府県別将来推計人口—平成7（1995）～37（2025）年—平成9年5月推計」国立社会保障・人口問題研究所編集発行（1997年8月1日発行）から東洋大学国際地域学部池田誠作成

以上の推計には、国勢調査が1995年時点であるという統計上の制約並びにコーホート法という方法論上の制約から、板倉町における最近の開発が反映されていないという欠点はあるものの、基本的には、表2の「封鎖人口」の推計値に示されている地域本来の潜在的な人口が、主として若年層の転出を反映している「開放人口」の推計値にみられるように持続できない長期的な傾向にあることは明らかになっている。

板倉町は、現在、第4次総合計画を策定中であるが、第3次総合計画策定時点での板倉町の政策的な人口フレームは次のとおりである。

「平成12年の目標人口をどのように設定するかは大きな問題であるが、現在本町が実施中の開発プロジェクト及び今後の大学設置、新駅設置を核とする周辺整備構想、ニュータウン構想などの実現を含めて、人口計画上から目標年次（注：2000年）の人口規模を25,000人と設定する。基準年次である昭和60年に比較して9,000人の政策的付加人口は、板倉町第3次総合計画の諸プロジェクトにより実現を図る。」

このような第3次総合計画の目標値が、前述のコーホート法による将来人口の推計値には反映されていないが、ここで推計された将来人口が意味することは、「ニュータウン開発の人口計画フレームが実現した場合、ニュータウンの開発以前から板倉町の住民であった町民の将来推計人口は2025

年には1.1万人から 1.5万人となることが推定される」ということを示している。即ち、将来の板倉町の人口構成は、ニュータウン開発によって、開発以前から住民であった町民の約6割から約8割を超える新たな人々が住民として加わることになるということを示している。このことは、将来、板倉町の政治・経済・社会・文化・環境など様々な側面で多様な影響を及ぼすものと考えられる。そして、それらの影響から発生する地域の諸問題を解決して持続可能な地域の発展を図るという視点からは、特に、従前からの住民とニュータウンに域外から転入してこられる新住民との交流やコミュニケーションを深め、相互理解を図っていくことが必要となる。そのことによって、相互の協調と協力が実現する「新しいコミュニティづくり」を形成していくことが重要な課題になるものと考えられる。

また、東洋大学板倉キャンパスは、学生および教職員（国際観光学科が2001年度から開設されるという今後の予定も含めて）が約2千人に近い規模になることが予想される。特に、外国人留学生が多数在籍しているという特徴も考慮すると、大学と地域との交流も国際的なインパクトも含めて板倉町及びその周辺地域に様々な影響を及ぼすことが考えられる。この面からも大学と地域社会が密接な関係を有する新しいコミュニティづくりが重要になるものと考えられる。

以上のことから、板倉キャンパス周辺地域においては、地元の住民の方々とニュータウンの新住民の方々と、さらには本学の学生や教職員との交流やコミュニケーションの促進を図ることによって、今後の持続可能な地域社会としてのコミュニティづくりを実現していくことが、一つの大きな地域的課題になっているといえよう。

一方、既に見てきたように、エコマネーは、「人の温かい心を具現化する」「ボランティア経済を循環させる」「コミュニティを活性化する」などと、21世紀の新しいコミュニティづくりを支援する「コミュニティ通貨」である。

従って、板倉キャンパス周辺地域において地元の住民の方々とニュータウンの新住民の方々と、さらには本学の学生や教職員という3者による新しいコミュニティづくりを支援する一つの方策としてエコマネーの導入を検討することに意義があるものといえる。

このような視点から板倉町におけるエコマネーの導入の意義は明らかであり、次にこの地域においてエコマネーを導入する可能性はあるのかという点について検討することが必要になる。

3. エコマネー導入の可能性

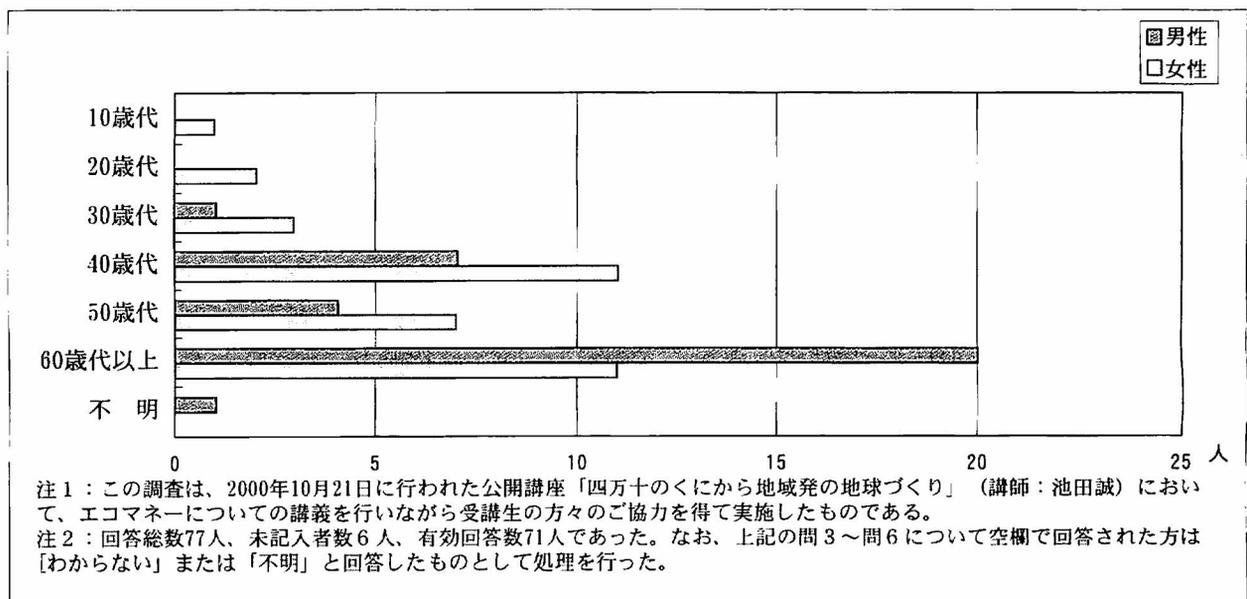
エコマネーの導入可能性について検討するためにはアンケート調査やインタビュー調査が考えられるが、エコマネーについては新聞テレビ等で報道はなされているものの、現段階では十分な理解がなされているとは言えない状況であることから、単純なアンケート調査やインタビュー調査には馴染まないものといえる。そのため、ここでは、エコマネーについての説明を行い、簡単な体験を行った上でエコマネーについての感想や意見をお聞きすることが調査手順として必要であると考えられる。

本稿では、2000年10月21日に行われた公開講座「四万十のくから地域発の地球づくり」（講師：池田誠）において、エコマネーについての説明を行う機会が得られたので、当日、「エコマネーの通貨単位」（結果は付属資料2を参照）を考えていただくことから、そのエコマネーで交換できるボランティアなサービスについて「自分なら何がして上げられるか」（付属資料3を参照）、「何をして欲しいか」（付属資料4を参照）について考えて頂き、その試行的な体験を基にアンケート調査票に回答していただくという方法で実施したものである。当日実施したアンケート調査の回答総数は77人であった。本調査そのものに関しては、公開講座に参加されている方々という特殊な集団についての調査であり、回答数が少ないこともあるので、この結果をもとに板倉キャンパス周辺地域の意見であるというような推定が行えるような調査ではないが、板倉キャンパス周辺地域の方々について本格的な調査を行う前の事前調査として位置づけることは可能であると考えられる。また、エコマネーの導入についての可能性を検討する上では、貴重な予備的資料になるものと考えられる。

まず、回答者の属性は、図1に示すとおりである（詳しくは付属資料1を参照）。男女別にはほぼ同数の回答者であったが、男性は60歳以上の割合が極めて高く、女性は40歳代と60歳代以上の割合が高いという特性が見られる。

エコマネーに関するアンケート結果は表4に示すとおりである。まず、「エコマネーは面白そうだと思いますか」という問いに対しては87.3%の方が面白そうだと回答しており、高い関心を示している。次の「エコマネーは地域の交流やふれあいを活発にできると思いますか」という問いに対しても71.8%が肯定的な回答をしている。しかしながら、「貴方の地域などで使えそうですか」という問いに対しては、肯定的回答は38.0%となり、「わからない」（無回答を含む）という回答の割合が56.3%になっている。「エコマネーについてもっと詳しい話を聞いてみたいですか」という問いに対しては52.1%が肯定的な回答であり、「わからない」（無回答を含む）という回答の割合は42.3%となっている。

図1 回答者の属性



このようなアンケート結果から、「エコマネーについては面白そうであるし、地域の交流やふれあいを活発にできそうであるが、自分たちの地域で実際に使えそうかということになると難しそうである」という意見が表れているものと言えよう。更に詳しい話を聞いてみたいという回答を半数近くの方がされていることから、「自分たちの地域で実施することは直ぐには難しそうであるが更に多くの情報を得ていきたい」ということが示されたものと考えられる。

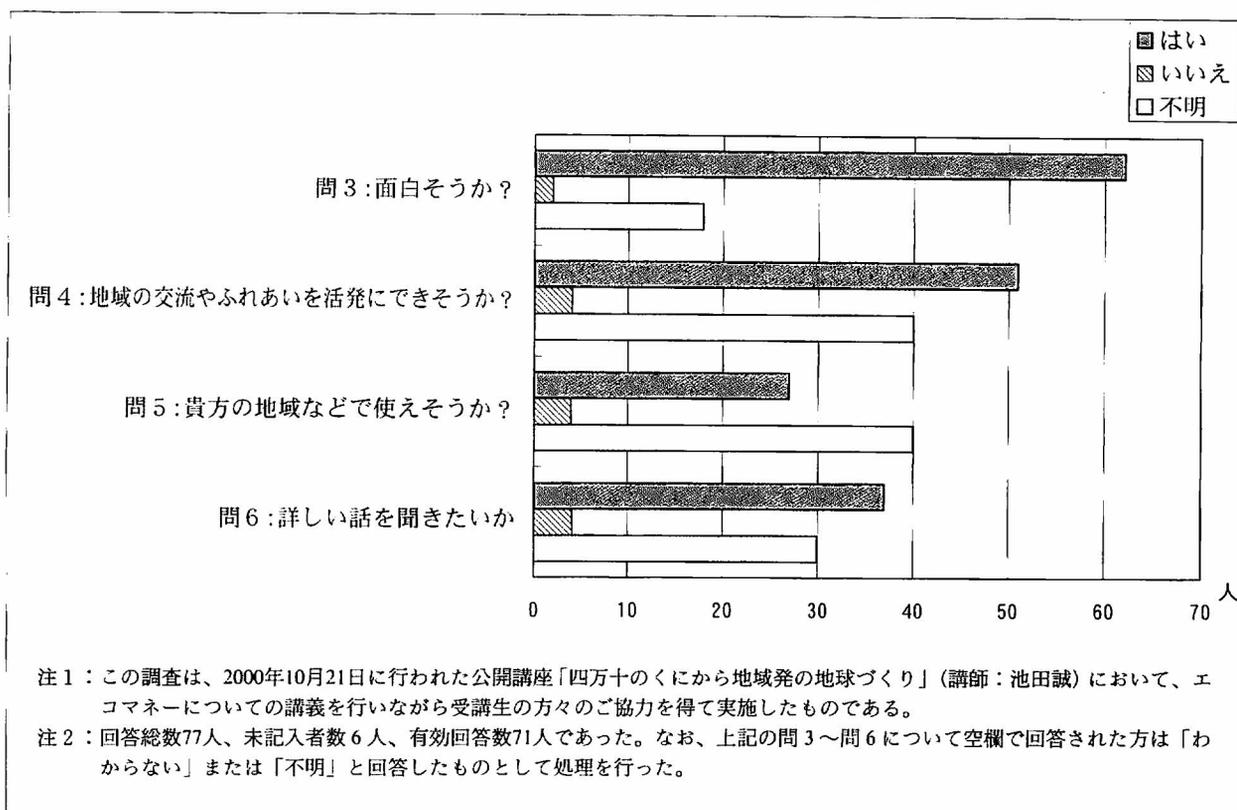
表4 エコマネーに関するアンケート結果 (単位：人、%)

問3 エコマネー（地域通貨）は面白そうだと思いますか？				
	は い	い い え	わからない	総 計
回 答 数	62	1	8	71
構 成 比 %	87.3	1.4	11.3	100.0
問4 エコマネーは地域の交流やふれあいを活発にできると思えますか？				
	は い	い い え	不 明	総 計
回 答 数	51	2	18	71
構 成 比 %	71.8	2.8	25.4	100.0
問5 エコマネーは貴方の地域などで使えそうですか？				
	は い	い い え	わからない	総 計
回 答 数	27	4	40	71
構 成 比 %	38.0	5.6	56.3	100.0
問6 エコマネーについてもっと詳しい話を聞いてみたいですか？				
	は い	い い え	わからない	総 計
回 答 数	37	4	30	71
構 成 比 %	52.1	5.6	42.3	100.0

注1：この調査は、2000年10月21日に行われた公開講座「四万十のくから地域発の地球づくり」（講師：池田誠）において、エコマネーについての講義を行いながら受講生の方々のご協力を得て実施したものである。

注2：回答総数77人、未記入者数6人、有効回答数71人であった。なお、上記の問3～問6について空欄で回答された方は「わからない」または「不明」と回答したものとして処理を行った。

図2 エコマネーに対する関心 (アンケート結果)



エコマネーの面白さに対するアンケート結果を性別、年齢別にクロス集計すると結果は表5に示すとおりである。「エコマネーは面白そうだと思いますか」という問に対して「わからない」あるいは「いいえ」と回答した方は性別では男性が多いこと、年齢別では40歳代と60歳代以上の方が多いことが示されている。エコマネーそのものが新しい取り組みであり、説明が不十分だったことも考えられることから、今後の進め方については40歳代以降の男性にも興味を示していただけるような説明の方法も検討することが必要である。

表5 エコマネーの面白さに関する性別・年齢別の回答結果

1 性別 (単位:人、%)

性別	男性	女性	不明	総計
はい	25	34	3	62
いいえ	1			1
わからない	7	1		8
総計	33	35	3	71
構成比%	46.5	49.3	4.2	100.0

注1: この調査は、2000年10月21日に行われた公開講座「四万十のくじから地域発の地球づくり」(講師:池田誠)において、エコマネーについての講義を行いながら受講生の方々のご協力を得て実施したものである。

2 年齢別

(単位：人、%)

年齢別	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上	不明	総計
はい	1	2	4	15	10	28	2	62
いいえ				1				1
わからない				2	1	4	1	8
総計	1	2	4	18	11	32	3	71
構成比%	1.4	2.8	5.6	25.4	15.5	45.1	4.2	100.0

注1：この調査は、2000年10月21日に行われた公開講座「四万十のくから地域発の地球づくり」（講師：池田誠）において、エコマネーについての講義を行いながら受講生の方々のご協力を得て実施したものである。

結 論

本稿では、地域通貨の一つとして注目を集めているエコマネーについて、東洋大学板倉キャンパス周辺地域におけるその導入の意義と可能性について明らかにした。そこでは、板倉キャンパス周辺地域において予想される今後の課題（すなわち、「従前からの地域住民」と「ニュータウンの新住民」と「大学の学生や教職員」との新たなコミュニティづくり）とその解決のための一方策としてエコマネー導入の意義を明らかにした。それとともに、アンケート調査の結果をもとにこの地域においてエコマネーを導入することの可能性について、事前調査的な位置づけのアンケート調査ではあるが公開講座に参加された地域の方々の高い関心を明らかにすることができた。

地域の方々がアンケートにも示されたように、エコマネーについては面白そうであるし、地域の交流やふれあいを活発にできそうであるが、自分たちの地域で実際に使えそうかということになると難しそうであるという意見が表れているとおり、実際に地域に導入することは色々な難しい課題も多く考えられるものと言えよう。

しかし、これもアンケート結果に示されているように、更に詳しい話を聞いてみたいという回答を半数近くの方がされていることから、自分たちの地域で実施することは直ぐには難しそうであるが更に多くの情報を得ていきたいということが示されており、今後の地域の取り組み方で大きく変わるものと考えられる。今後、この地域においてエコマネーを導入していくためには、まず、エコマネーの講演会などで情報を広めていくことが必要であり、エコマネーの実験を行う主体としてのボランティアな組織作りや実験的取り組みの準備（約100～200人程度で1～2ヶ月間程度の実験への参加者の募集）などを行っていくことが必要である。

最後に、アンケートの集計に際してデータの入力などで学生のボランティアな協力を頂いたことと、公開講座においてアンケートへのご協力を頂いた方々への感謝の意を表するとともに、本稿が、この地域におけるエコマネー導入の一つのステップとなることを願って結びとしたい。

参考文献

- 1) 加藤敏春書「エコマネー」日本経済評論社、1998年9月
- 2) エコマネーネットワークのホームページ <http://www.ecomoney.net/ecoHP/top.html> (2000年12月17日現在)
- 3) 「エコマネー・マニュアル V0.0」 <http://www.johoka.ne.jp/eco-money.html> (2000年12月17日現在)
- 4) 総務庁統計局編集「国勢調査報告」(各年) (財)日本統計協会発行(備考:最新年版は「平成7年国勢調査報告」平成8年10月発行)
- 5) 「都道府県別将来推計人口—平成7(1995)~37(2025)年—平成9年5月推計」国立社会保障・人口問題研究所編集発行(1997年8月1日発行)
- 6) 「板倉町第3次総合計画」(1990年)

付属資料1:本文中の図1の回答者の属性に関するデータは次のとおりである。

(単位:人)

	男性	女性	不明	総計	構成比%
10歳代		1		1	1.4
20歳代		2		2	2.8
30歳代	1	3		4	5.6
40歳代	7	11		18	25.4
50歳代	4	7		11	15.5
60歳代以上	20	11	1	32	45.1
不明	1		2	3	4.2
総計	33	35	3	71	100.0

注1:この調査は、2000年10月21日に行われた公開講座「四万十のくから地域発の地球づくり」(講師:池田誠)において、エコマネーについての講義を行いながら受講生の方々のご協力を得て実施したものである。

付属資料2:エコマネーの単位と由来

単位=	その由来	単位=	その由来
wing	板倉では空っ風が多いため	フリー	自由にどこでも何人でも利用出来る
ピクセル	画素数を単位とする。 使用した画素数	エコ	意識をさらに高めるため
雷電(らいでん)	板倉の有名な雷電神社からとりました	ホーン	音の強弱
ニュータウン	ニュータウン住民の相互秩序	ラッキー	皆様方にお会いできて嬉しい。
サイトウ	とっさに良い名が浮かばず、苗字からとりました。	フット	人と人とのふれ合いには活動力が働く。 (歩くから)
プール	板倉には、沼が多いので、イギリスのポンドのようで良いのでは…	ピース	豆粒のように小さな親切でも皆の協力で世界平和につながるかも。
リバー	板倉町は、利根川・渡良瀬川に囲まれている、きれいな川を目指して	Book	図書館で本の整理をしながら、様々な種類の本の存在を知る。
シャイン	経験したみのり(輝き・シャイン)を頂けて有難う。	ファーム	我が家は趣味の農園をやっているの

単位＝	その由来	単位＝	その由来
ク リ ー ン	奉仕活動を目的として	つ つ じ	市のイメージがあるので
イ ズ ミ	大泉町 (オオイズミマチ)	GD (グッダイ)	Good Day シドニー五輪から
ウオーター	街花の水遣り、管理、清掃。	グ リ ー ン	豊かな町
コ ミ ュ	コミュニティとコミュニケーション	富 (プ)	沢山たまると、うれしくなりそう。
ニ ャ ン コ	ニャンコのほんわかあったかムードがエコのやさしさに通じそうな気がして	菜	野菜の作り方指導していただいた人。又、他のお世話になった人に野菜を
ホ ッ ト	心あたたまる行動だから。	—	—
ビビ(微々)	微々たることに御手伝いします。少し、力を借りたいのです。	ヘルプ	地域の人たちがお互いに助けあって生活する。
手	手を借りる。手を貸す。と言う昔からの言い方から。	リサイクル	自然環境保護からのリサイクルを祈念して。
イ タ ク ラ	地域を明確に表すため	山(マウント)	人の善意が山の様に積み重なる
ぢ ー	発音しやすい。爺々に通じる。	エ コ	最もわかり易い
ク リ ー ン	いつもきれいに生活したい。	ハ ー ト	心のつながり
時 間		ピ カ	雷のイメージとごろの良さから
ollar (クラ)	板倉の倉 倉が建つ dollar に近い	モクセイ	いつでも香りが良いように
ドングリ	ドングリ預金をしている小学校があります。	ドリーム	その行為によって夢が生まれるように
お ん	あたたかい(温)	ナ マ ズ	板倉町の名物漁
だ ん べ	言葉の終わりに「だんべ」を使うので	ポ (歩)	自分の足で実行した単位
アゼリア	市の花	愛	人間愛があるように
ヒューマン	人間的だから	点	共通した単位
ボ ラ ン	ボランティア	ル ー ト	これからの活動の根になるものだから。
ア グ リ	アグリカルチャー	ラ ヴ	何についても愛をもって行う。

エコとクリーンが二つずつだけであとは全て異なっている。

付属資料3：エコマネーの交換を通じてしてあげられること

基本的なパソコンの操作教えます	掃除できます (洗車も含めて)	パソコンで写真集を作ります
手紙が書けないお年寄りなどの代筆	若いお母さんの育児の相談、一時預かり	ピンホール・カメラの作り方
土木 (道路、河川等) に関する一般的な相談事	簡単な草取り、草刈り	簡単な庭木の手入れ
留守時の植木の水やり	生垣の整備	—
買い物	話し相手	食事の相談、栄養士なので(食べ方)
本を読んであげる事	お話の相手をして上げる事	—
買い物	ドライブ	田舎まんじゅうのつくりかた
料理を指導します。	読み聞かせをしてあげます。(子供の絵本など)	和服の着付けをしてあげます。

日本語を教えます。	アメリカ留学に就いて相談にのれます。	お年寄りの話し相手になってあげる (いろいろ聞いてあげる)
本、新聞を読んであげます。お話を してあげます。	切り絵、ハガキ絵を教えられます。 (平郷) 篠角を教えられます。	掃除・洗濯・話し相手(家事一般) 料理など。お手伝い。
町内の子供育成会にて、「親子での商店街ウォークラリー」を企画し、参加者にゴミ袋を手渡し、協力して頂いた 方に、商店街共通割引券を景品とした事例があります。		
(文章) 手紙の代筆 100 自分も文章力の勉強になります。	納税に関するお手伝い 100 自分も税務について勉強になります。	
除草 200	テレビ修理 200	話し相手 100
犬の散歩	買物	ボタンつけやほつれ縫い(簡単な服 の修理)
昔話	昔の子供の遊び	社会教育的なことの仲間づくり
お年寄りにマッサージをしてあげれ ます。	近くの診療所や観光地へ車で送ることが出来ます。	
100ウォーターで一週間分の家の前の「鉢花」の水遣り		
年賀状の宛名書き 100GD	館林駅で特急券購入 200GD	家族新聞作り 500GD
ガーデニング指導、市民農園等での作物指導		スペイン語を教えられる
子供と遊ぶ。	本や新聞を読んであげたり、話し合 い手になったりする。	サイクリングにつきあう。
我が家の畑でドラム缶の竹炭作りを体験してもらう。一人住いでの高齢者 に絵手紙を出す。	デジカメラで高齢者の画像を撮って プリントアウトをしてあげる。	
病人の介護をしてあげられます。	薬の正しい飲み方教えます。	話し相手になります。
留守の間、犬の散歩をしてあげます。	庭の草むしり、留守の間、外にある鉢花の水やり承ります。	
庭木の手入れ	趣味の菜園での収穫の仕方を教え る。	写真撮影の仕方
地元の道案内	東京案内	早く帰宅する。
小型犬のシャンプー	家庭菜園の手引き	
買い物、ドライブ	パッチワークを教える。	散歩の同行
清掃	16ミリ映写機の操作	昔話
樹木の手入れ	盆栽の手入れ	昔話
お掃除をしてあげる。	洗濯をしてあげる。	草取りをしてあげる。
老人スキー指導 (120cellar)	耳を動かす実演 (200cellar)	聴くに絶えないバイオリン演奏(800 cellar)
長期の旅行に行く方の家の草花の水 あげ	今の人達で知らない昔から伝わって いる料理の仕方	便利屋(日常生活雑事)車の運転か らペンキ塗りまで
年配の方の病院の送り迎えや買い物	紅葉情報や花の見どころを教えられ る。	
ペットを一晩あずかる。	パソコンは教えられる。	自転車のパンク修理

自転車のパンク修理(100ピカ)	写真をとってあげます(証明写真など)	海釣り情報
話し相手になる(心配事やその他もろもろ、あきている時にでも)	農業をしておりますので作物(主に野菜作り)のつくり方を教えます。	館林の住所案内をしてあげます。
病人の介護	病人の送り迎え(病院)	話し相手(年寄り)
介護、(病院への付き添い、料理、洗濯、庭の草取り)	買い物支援、健康相談	地域の公園の除草、掃除
高齢者を車で運んでやれます。他にどういふふうにして	道路や公園の清掃ができます。	水道の事について教えてやれる。相談も受ける。(宅地内の漏水をどうするかのお尋ねごと)
留守番(ひまがあるので)	簡単な木目編み人形の指導	
本の読み聞かせ(子供達) 100アゼリア	身体の不自由な方の為に、例：布団干し、ゴミ出しなど	老人ホーム(カラオケ歌を指導する) 200アゼリア
病院迄の送迎(車で)	草むしり	買物
草取り	芝刈り	肩たたき
水泳全般の指導(水泳、競泳のルール) 400ナマズ/日	書道、水墨画の手習い相談 50ナマズ/時間	小中学生と数学クラブを作りたい。 算数・数学をゲーム感覚でやりたい。
凧上げ	竹とんぼ	
一人暮らしの老人に挨拶に行く。	草花を植えてあげられる。	花見に連れていかれる。
使う地域での共通理解が得られる必要あり	サービスと善意をマネー化する事自体疑問(注：意見)	善悪銀行とか花の銀行、グリーンバンクなどが
話し相手	掃除	散歩の相手
幼児の世話	自動車の運転	
農作業	七色畑でとれた農菜の提供	おいしい野菜の食べ方

注：重複は別の方の記入ですので、そのまま表記してあります。

付属資料4：「エコマネーの交換を通じてして欲しいこと」の回答

①	②	③
ホームページの作り方を教えて下さい。	英会話、茶道、書道、着付け	車の仕組み
食べることが好きなので地域のおいしいお店を知らせてほしい。	公衆電話の無いところでちょっと携帯電話で連絡させて欲しい。	パソコンを教えて欲しい(一時間50ウオーター)
堆肥づくりをしてくださる方(今、行政が片付けて燃やしているようです)	果樹や野菜の害虫や病気を駆除してくれる人(例、樹木医)	以前は農協に「農業改良普及員」がいて教えてくれた。今の農協は銀行と同じである。
留守時の植木のみずやり	庭木のセン定、害虫対策、野菜づくり	ワープロ、パソコンの使い方
庭木の手入れ(草取り含)	パソコンの指導をして頂けたら	家の小さな修理(大工さんを頼む程ではない種類の)
庭の手入れ、消毒をして欲しい。	庭造りのヒントを教えて欲しい。	パソコンを教えて欲しい。

空き缶拾いの奉仕活動	渡良瀬川の清掃活動	パソコン等を気軽に指導してくれる所
ダンス教授 300	英会話 300	ピアノ 300
庭木の手入れ	芝の中の草取り	庭木、花の手入れ
若い人との交流(年を感じないように)	大学生との交流	健康体操
英会話を習いたい。	フランス語を習いたい。	中国語を習いたい。
忙しい時子供の面倒を見て欲しい。	庭の手入れをして欲しい。庭の手入れや野菜の育て方を教えて欲しい。	地元の料理や情報を教えて。(最近転居してきたばかりなので。)
お得意なふるさとの料理を教えてください。	お年よりから昔のあそびや祭りの思い出を聞きたい。	ボランティア活動に参加…メンバーに入ってもらおう。
車の掃除をしてほしい。	庭の草むしりをしてほしい。	家庭菜園の野菜をもらってほしい。
家の前の道路の清掃をしていただきたいです。	パソコンの使い方をおしえてほしい(?)	農繁期の忙しい時にお手伝い(食事作り)など頼めたらいいなと思います。
近くの行楽情報	パソコンの手ほどき	求人情報(?)
駅近くの家主さんに駐車させてほしい。	子供の行動をみていてほしい。	かわりに働いてほしい(自由時間が欲しいので)
ボランティアはサービスで、それを数的価値に置き換えられるか。	ハイキング(低山ハイク)現地までの車の運転	人の集まりの中で知らなかった知恵をいただいた。
剪定した枝の処理	パソコン操作	不要品を売ってもらいたい。
パソコン操作	ペットを一晩あずけたい	クロールの泳ぎ方を教えて欲しい。
年寄りの散歩の付き合い(150cilar)	ねむい時の送迎(400cilar)	若い人のおしおき(800cilar)
パソコンを個人でおしえて頂きたい	実家の草取りをお願いしたい。	庭の稲刈り
料理の手本	家庭の掃除	庭の手入れ
車が運転できないので、車で他所に乗せてもらいたい。	料理講習	パソコンを教えて欲しい。
自動車の簡単な構造についての説明 →季節に合わせた整備がポイント	自動車の事故に遭ったとき(あつては困るが)	パソコンの勉強
フルートの演奏方法	フラワーアレンジについて	本や書類の整理
パソコンの使い方	松の剪定	山歩きの案内
家屋(屋根、壁など)の修理方法、アドバイス 500ナマズ(内容により変化)	犬や猫を預けたい	酒づくり、ビールづくり、ワインづくりの実践
小さな親切	ボランティア	無償の奉仕

注：重複は別の方の記入ですので、そのまま表記してあります。